

第 440 回福山地区内科会学術講演会の御案内

拝啓

初秋の候、先生方におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「第 440 回 福山地区内科会学術講演会」を下記の要領で開催させていただきます。

ご多忙とは存じますが、多数のご出席を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

記

■ 日時：平成 27 年 10 月 22 日（木） 19：15～

■ 場所：福山ニューキャッスルホテル 3 階 「光耀の間」
広島県福山市三之丸 8 番 16 号 TEL 084-922-2121

■ 演題

『公衆衛生の転換－感染症との戦いから共生へ』

－現代という文脈で読み解くエボラ出血熱、デング熱の流行－

■ 講師 長崎大学熱帯医学研究所 国際保健学分野

教授 山本 太郎 先生

なぜ、ある感染症が流行したのか、あるいはするのかを、私たちはこれまで考えてきました。例えば、ヒトの移動、労働キャンプ、都市化、歪な性比などの要因で HIV を流行させたと考えてきたのです。しかし今、その「考え方」は「逆」ではないかと思ひ始めています。病原体が流行するか否かを選択するのではなく、「ヒト社会」あるいは大きく「ヒト社会のあり方」が病原体を選ぶのではないかということです。別の言葉で言えば、ヒト社会での流行を望んで、いつの時代も、多くのウイルスや細菌が、恒常的な挑戦をしている。その中から、どのウイルスや細菌が流行するかを選択しているのは、ウイルスや細菌ではなく、「ヒト社会のあり方」なのではないかという事です。

※講演に先立ちまして 19:00 より、マクロライド系抗生物質「クラリス」の紹介をさせていただきます。

※講演会終了後ささやかではございますが、意見交換の場をご用意しております

共催 福山地区内科会
福山市医師会
大正富山医薬品株式会社